

(2) 中 裕樹 (森ビル株式会社タウンマネジメント事業部)

次に、森ビル株式会社タウンマネジメント事業部の中裕樹さんに「虎ノ門のグランドレベルで進む新しい街づくり」と題して、虎ノ門ヒルズを中心とした、地域の価値を高めるまちづくりについてご紹介いただいた。



(中裕樹さん／森ビル株式会社タウンマネジメント事業部)

(中氏プレゼンテーション要旨)

①人が集う「OUR PARKS」へ

私はタウンマネジメント事業部というところで、虎ノ門ヒルズという街の運営をしています。今回は公園経営シンポジウムということで、民間の立場から空地の活用や緑地の活用といった話をできればと思っています。

私が担当している虎ノ門ヒルズエリアは、他のビジネスエリアに比べると古い街、虎ノ門というとサラリーマンしかないようなイメージの街でした。そこに虎ノ門ヒルズができたことによって虎ノ門エリアはすごく変わっていきまして、新しいビジネスが起こったり、イノベーションが生まれたりというエリアになっています。

ただ完成した虎ノ門ヒルズはいい建築物でいい広場もあるけれども、どうしても人の利用シーンがイメージしづらい。どうしていったらいいかというところで考え、「OUR PARKS」というコンセプトを立ち上げました。その場所をみんなで作っていけるという風に考え、どこの場所も人が集まれば「OUR PARKS」だし、公園だし、そこがコミュニティになっていくのではないかと、ということを考えながら取り組んできました。

TORANOMON HILLS OUR PARKS

OUR PARKSとは、
「みんなでつくるわたしたちの場所」

魅力的なネイバーフッドには、人々が集まれるオープンな場所があります。
「わたしたちの場所をみんなでつくろう」というコンセプトで始まった、虎ノ門ヒルズのイベントシリーズが「OUR PARKS」です。

このプロジェクトでは、虎ノ門ヒルズのオーバル広場やアトリウム、ステップガーデン、あるいは新虎通りといったオープンな空間に、年間を通じて多数のコミュニティを巻き込んだ多様なコンテンツを展開。虎ノ門ヒルズワーカーや地域住民、来街者をつなぐハブとして公開空地が機能することで、コミュニティにとってのサードプレイス（わたしたちの公園）を創り、継続的な虎ノ門エリアの地域活性化へとつなげていきます。



②地域コミュニティと交わるまちづくり

開業当初から実施しているのはヨガなんですけれども、一番多い時には日曜日に300人くらいの参加者がいらっしゃいます。花のマーケットは半年に1回くらい定期的に行なっているイベントで、花があると空間が一気に香りで変わるという非常にいいイベントだなと思って継続してやっています。あとは屋外映画ですね。

イベントだけじゃなくて、虎ノ門ヒルズの広場自体をいろんなコミュニティの場所として地域に開いているというところもあります。ひとつは、虎ノ門ヒルズの就業者の皆さんの避難訓練ですね。また、毎月第二・第四木曜日にグリーンボードという清掃活動に取り組んでいます。こういったことが地域のコミュニティづくりのひとつになっているのかなと思います。虎ノ門ヒルズという再開発でできた新しい街で地域と交わることができてい

ると思っていて、街にいる方・地域にいる方の顔を見ながら常にまちづくりをしているというところです。



(定期開催しているフラワーマーケット)



(地域清掃に取り組むグリーンバードの活動)

③街のブランドが、街の収益を生む仕組み

それだけ聞くと民間の事業者だからできるんじゃないかと思われるかもしれませんが、私たちの取り組みは森ビルがほぼ投資をしていない、独立採算制のものも多いんです。

たとえば広場で企業にプロモーションをしていただき、収益を得ながら、をれを原資にして自主的なイベントを実施する。つまり街の運営によって魅力的なイベント行い、街の

ブランディングを高めそれによって街の収益を上げています。リアルな場所だけでなく、メディアをつくったり映像媒体をつくって、そこで稼ぐということを考えて、それによって持続的な広場活用・維持管理・賑わいづくりができるという風に考えています。

お金を稼ぐことによってもっと自分たちのイベントができる、この仕組みをぐるぐるまわしていく。常に維持できるこの仕組みを意識して仕事をしています。

